

🎬 映画『揺さぶられる正義』 上映会 & シンポジウム 🎤

— SBS・AHT問題の今とこれから —

大阪弁護士会 刑事弁護委員会/SBS検証プロジェクト共催

2026年3月。わずか10日間のうちに、福岡・宇都宮・大阪で、3つのSBS・AHT事件で「無罪」が言い渡されました。また、3月3日には、今西事件の無罪判決に対する検察官上告が最高裁で棄却され、無罪判決が確定しました。

「虐待」という疑いをかけられ、家族が引き裂かれた空白の時間。
科学と司法が向き合うべき真実とは何か？ いま、共に考える機会を。

【上映会&シンポジウム概要】

日時：7月4日(土)午後1時～午後4時30分 【開場：午後12時45分】

場所：大阪弁護士会2階大ホール(大阪市北区西天満1-12-5)

費用：無料

🎬 第一部：映画上映会 (13:05～) 『揺さぶられる正義』 (129分)

「わが子を愛する当たり前の日常を、なぜ奪われなければならなかったのか」

関西テレビの記者であり弁護士でもある上田大輔が監督を務め、SBS(乳幼児揺さぶられ症候群)冤罪に翻弄される家族の苦闘と、それを支える専門家たちの姿を追った渾身のドキュメンタリー。

2026.5 ドイツ国際映像祭「ワールド・メディア・フェスティバル2026」ドキュメンタリー人権・社会正義部門で金賞受賞

🎤 第二部：シンポジウム (15:25～)

SBS・AHT冤罪事件で無罪判決を獲得してきた弁護士と冤罪当事者が事件の舞台裏と今後の課題を語り尽くします。

【登壇予定者】

上田大輔(「揺さぶられる正義」監督)

秋田真志(大阪無罪事件 弁護士/SBS検証プロジェクト共同代表)

川上博之(赤阪無罪事件 弁護士/SBS検証プロジェクト事務局長)

SBS・AHT事件 冤罪当事者 赤阪友昭

【SBS・AHT問題とは】

かつては「揺さぶり」による虐待の指標とされる「3徴候」があるのみで、他の可能性(病気や不慮の事故)を十分に検討することなく、養育者らを「加害者」と断定されました。現在は科学的な再検証により修正されつつありますが、根本的な見直しには至っておらず、なお多くの事例で診断の誤りが指摘されています。

【アクセス】



【交通手段】

- ・京阪中之島線「なにわ橋駅」下車 出口(1)から徒歩約5分
- ・地下鉄・京阪本線「淀屋橋駅」下車 1番出口から徒歩約10分
- ・地下鉄・京阪本線「北浜駅」下車 26号階段から徒歩約7分
- ・JR東西線「北新地駅」下車 徒歩約15分

【申し込み方法】

- ① 定員（250名）に達した場合、申込みを締め切る場合がございます。

下記のURLまたはQRコードからお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/FNQLtAa2gc>



- ② 事前登録完了後に、登録完了のメールが届きます。

※ 録画・録音は禁止させていただきます。

※ 本イベントは会場のみで実施し、当日のWEB配信はありません。

▼△本件に関する問合せ先△▼

大阪弁護士会人権課（刑事弁護委員会担当）

TEL 06-6364-1227 平日のみ。9時～正午、12時45分～17時